

対象国の条件 : アフリカ地域を中心とした主要天水稲作国

研修コース番号 : 201984704-J002

案件番号 : 201984704

主分野課題 : 農業開発/稲作・その他穀物、根茎作物

副分野課題 :

使用言語 : 英語

案件概要

天水稲作に関する稲栽培、種子生産、及び品種選定技術に関する研究能力の向上を目指すコース。各研修員の課題に応じた個別研究を行い、圃場での実習・実験を通じて研修員が自ら実験計画を実施・考察できるようにする。研修員は、研修期間中に習得した事項をレポートに纏め、帰国後、所属先に習得した技術・知見を広めることが期待されている。

目標/成果	対象組織/人材	
<p>【案件目標】 日本で学んだ知見を基に、天水稲作の栽培技術、種子生産技術、及び/もしくは品種選定技術に関するレポートが作成される。</p> <p>【成果】 1. 各国の陸稲栽培・種子生産・品種選定技術に関する現状と課題を把握し、説明できる。 2. 陸稲栽培の基本技術を習得する。 3. 陸稲の種子生産・種子保存に関する基本技術を習得する。 4. 陸稲の品種選定に関する基本技術を習得する。 5. 1. で分析した課題に応じて実験計画を作成し、その考察結果及び帰国後の活動計画をレポートにまとめる。</p>	<p>【対象組織】 陸稲品種の栽培・種子生産・品種選定・普及に携わる機関</p> <p>【対象人材】 1. 対象組織の研究者及び技術者 2. 稲作に関して3年以上の実務経験を有する者 3. 大卒又はそれと同等の学歴を有する者 4. 英語を十分に読み、書き、話せる者 (TOEFL iBT80点/PBT550点以上の英語レベルを想定) 5. 心身ともに健康な者</p>	
<p>内 容</p> <p>1. 自国における陸稲栽培・種子生産・品種選定技術の現状及び課題の分析を記載したインセプションレポートの作成、発表、及び討議 2. 陸稲の圃場栽培技術、稲の生理学・生態学、土壌肥料、病害虫、除草法、かんがい排水管理、米の収穫後処理技術等（共通・個別研究含む） 3. 陸稲の種子作出法、種子検定・種子登録、稲の育種、品種選定法等 4. 各種栽培実験法及び解析法、PCM手法、農村調査法（含：営農調査）等 5. 実験結果とその考察及び帰国後の活動計画をまとめたテクニカルレポートの作成、発表、及び討議</p>	<p>本邦研修期間</p>	<p>2020/3/24～2020/11/5</p>
	<p>担当課題部</p>	<p>農村開発部</p>
	<p>所管国内機関</p>	<p>JICA筑波（研修業務）</p>
	<p>関係省庁</p>	
	<p>実施年度</p>	<p>2018～2020</p>

主要協力機関 一般社団法人 海外農業開発協会

特記事項及びホームページ